

笑顔の交流通じ、まちの発展を願う

一般財団法人 大阪市コミュニティ協会 中央区支部協議会
会長 清水 隆司

中央区が区制30周年を迎えましたことは、たいへん喜ばしく、感慨もひとしおです。

近年は、大阪とりわけ中央区が海外から注目を浴びており、アジアで最も訪れたい都市のランキングで、群を抜いてトップになっています。中でも大阪城や道頓堀などは、観光客数増加のおかげで、まちの様相が大きく変わってきています。

また、この地域でも、タワーマンションの建設が進み、とくに若いファミリー世帯が増えてきています。学校も児童数が増え、子どもたちの活発な声が響き、地域にも活気を与えてくれています。

大阪市コミュニティ協会「中央区支部協議会」では、新旧の住民同士の交流を通じて、地域コミュニティの醸成や活性化を図るため、多くの地域住民の方々が集える行事として、毎年、なにわの宮跡で行う「中央区民まつり」、瓦屋町グランドで行う「スポーツカーニバル」、家族でいっしょに楽しめる「子ども広場」や「人形劇」、「コンサート」などの事業を行ってまいりました。

人々の笑顔と交流を通して、“心と心のふれあいのある、明るいまちづくり”が、一層進んでいくものと思っています。

歴史と伝統のある中央区が、人と人のつながりを通して、さらに発展していくよう願っております。

